

邑(むら)の映画会実行委員会は、群馬県の「映像教育」の発展を目指し、世界で製作された多様な映画作品の上映やワークショップ活動を行っています。この会を通して、子どもたちが夢をふくらませ、映像文化によって心豊かな感性が育めることを願っています。



### 紅葉狩(もみじかり)

1899年/日本/6分/35mm/白黒実写  
撮影: 柴田常吉

日本人が撮影し、現在、残っているもっとも古い映画(日本の動画 第1号!)。柴田常吉が、9代目市川團十郎と5代目尾上菊五郎が舞う、歌舞伎「紅葉狩」を撮影したものです。昨年上映したリュミエールの映画もこの映画もワンカットで撮影。今の映画とちよつと違います。2009年、映画としては初めて、国の重要文化財に指定されました。昔の映画ですから、カサカサしたりしますが、そこがまた、フィルムのおもしろさです。  
©東京国立近代美術館フィルムセンター



### 漫画 癩取り(まんがこぶとり)

1929年/日本/14分/35mm/染色  
監督: 村田安司

民話「こぶとりじいさん」のお話です。たるべえさんは、正直者で、はたらきもの。じろべえさんは欲張りで、なまけもの。2人のほほにはおおきなこぶがありました。山の中では、カラスでんぐがお祭りをしています。てんぐにこぶを取られたり、くつつけられたり、くるくるてん、空にとぼされたり…。ピーヒャラ、ドンドン、笛や太鼓に合わせておどる、おじいさん。紙を動かしているとは思えない、切り絵アニメーション。  
©東京国立近代美術館フィルムセンター



### 村祭(むらまつり)

1930年/日本/3分/35mm/染色  
監督: 大藤信郎

「むらのちんじゅうのかみさまの きょうはたのしいむらまつり ドンドンヒャラドンヒャララ あさからきこえるふえたいこ」。むかしは、あちこちのじんじゃで、みんながあつまつて、あさからばんまでおまつりをしていました。うたにのって、たいこやふえのおはやしにあわせて、おたふく、ひよつとこ、しし…がおどります。にほんをだひょうする大藤信郎がかんとくのたのしくゆかいな江戸千代紙の、切り絵アニメーション。  
©東京国立近代美術館フィルムセンター



### 鳥の誕生

1972年/カナダ/10分/35mm/カラー  
監督: フレデリック・バック

カナダに昔からすんでいる、ミックマック族のお話だよ。森の中で遊ぶ子どもたち。シカやウサギやしゅうちょうさんともなかなよした。お父さんはみずうみでカヌーにのって魚と。でもね、あらあらしい風の神様が、森をきびしい冬にしてしまう…。“春よこい!” 子どもたちの祈りがとどき、森の神様が、春を呼ぶ。雪はとけ、花がさき、赤や黄色の鳥がとぶ。“春がきた!”。色とりどりの切り紙が動く、切り絵アニメーション。  
© Société Radio-Canada



### 木を植えた男

1987年/カナダ/30分/35mm/カラー  
監督: フレデリック・バック

たった一人で、黙々と来る日も来る日も南フランスの木一本生えていない荒地に、どんぐりを埋め続け、緑と水あふれる村をつくった。祈りにみちた男の話です。キラキラ光る太陽と水と花と風の匂い。豊かな森には人々の笑い声、鳥の声…。これが、私たちが望む幸せな暮らしなのだ、と嬉しくなります。パステル画タッチで一枚一枚描かれた柔らかな2万枚の絵が動く、アニメーション。アヌシー映画祭グランプリ受賞  
© Société Radio-Canada



### 埋もれ木

2005年/日本/93分/35mm/監督: 小栗康平

山あいの小さな町。そこに住む人々には、それぞれいろいろな物語があります。女子高校生のまちは、女友だちと短い物語を作り、それをリレーして遊びます。大人たちは、過去の物語を語ります。この映画は、登場する人々の思い、記憶、夢や希望といった心の中にあるものを描いています。「埋もれ木」とは、古代の森が火山噴火によって立木のまま埋もれたものです。この地下にもう一つ、森がある、そう考えるだけで浮き浮きしてきませんか。私たちはもっと自由で、もっとところ豊かであっていい、と、主人公の女子高校生まちは、そう思ったに違いありません。』(小栗康平)

カンヌ国際映画祭特別上映作品 © 2005「埋もれ木」製作委員会

## 講演「自分の夢と仲良くしよう」

自分の夢と仲良くしよう — これは映画「埋もれ木」のキャッチコピーです。思い描くことを手放さないように、ということでもあるでしょうか。映画は、見えるものを撮っていますが、夢とか祈りとか、そういう見えないものを通して、私たちがもう一度結び合うために必要とされているもの、と考えたいです。



邑の映画会顧問 映画監督 小栗康平

### プロフィール

1945年前橋市生まれ。早稲田大学第二文学部演劇専修卒。81年の監督第一回作品「泥の河」はモスクワ映画祭銀賞、米アカデミー賞外国語映画賞ノミネートなど高い評価を受け、以後、84年「伽椰子のために」(仏ジョルジュ・サドール賞)、90年「死の棘」(カンヌ映画祭グランプリ・カンヌ1990/国際批評家連盟賞)、96年の県人口200万人記念映画「眠る男」(モントリオール映画祭審査委員特別大賞)、05年「埋もれ木」(カンヌ映画祭特別上映作品)、2015年日仏合作映画「FOUJITA」公開。著書「時間をほどこ」「映画を見る眼」「見ること、在ること」「哀切と痛切」。DVD「埋もれ木」小栗康平監督作品集 DVD-BOX。

小栗康平監督 待望の映画「FOUJITA」完成  
11月14日より、ユナイテッド・シネマ前橋にて上映

全国共通前売券取扱い中 □1,400円  
邑の映画会事務局 Tel.0276-89-0010

会場交通案内

東武小泉線本中野駅より徒歩5分。北関東自動車道太田・桐生I.Cより20分。

主催 □ 邑の映画会実行委員会 / 邑楽郡邑楽町光善寺275-2

協力 □ 東京国立近代美術館フィルムセンター  
株式会社 KADOKAWA  
Société Radio-Canada

協賛 □ 館林西口タリークラブ / 社会福祉法人邑会  
朝日印刷工業株式会社 / 高源寺 / 恩林寺 / 大信寺 / 加藤医院

後援 □ 邑楽町 / 邑楽町教育委員会 / 邑楽町立小中学校  
PTA連合会 / 邑楽町立幼稚園PTA連合会 / 邑楽町立保育園  
保護者会連絡協議会 / 風の子保育園保護者会 / 邑楽町文化協会 / 邑楽町公民館・おうらヤングプラザ・長柄公民館・各利用団体連絡協議会 / 群馬県 / 群馬県教育委員会 / 館林市教育委員会 / 板倉町教育委員会 / 明和町教育委員会 / 千代田町教育委員会 / 大泉町教育委員会 / 上毛新聞社 / 朝日新聞前橋総局 / 毎日新聞前橋支局 / 読売新聞前橋支局 / 産経新聞前橋支局 / 東京新聞前橋支局 / 群馬テレビ / エフエム群馬

公式サイト □ <http://kenokuni.jp/muracinema>

